

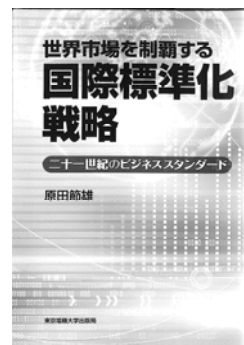
Suica導入の陰で繰り広げられた国際標準化バトル！  
2008年度**内閣総理大臣賞**受賞に輝く著者が熾烈な戦いを赤裸々に語る

《21世紀のビジネス スタンダード》

## 世界市場を制覇する 国際標準化戦略

原田節雄（はらだ・せつお）著

四六判・縦組・472ページ 定価1,995円（税込）



- 著者は「QRコード」（2次元バーコード）、「フェリカ」（非接触型ICカード）、「ユニバーサルメディアディスク」（PSP用記憶装置）などの規格を世界の標準に仕立て上げた張本人。彼がいなければ、スイカもイコカもパスモもおそらく存在しなかつたであろうといわれている。
- 駐日米国大使からJR東日本社長へ発信された一通の手紙——そこにしたためられた日本市場制覇をねらう海外企業の思惑。相互理解をめざす建前の国際標準化の前に沈黙する技術大国日本。独り勝ちをめざす本音の国際標準化の陰で暗躍する政治大国 欧米。本書は、標準化ビジネスの理想と現実のギャップを白日の下にさらし、世界市場制覇を実現するための国際標準化戦略を語る。
- 以下の「なぜ？」に、国際標準化ビジネスの第一人者として中国を巻き込んだ日米欧国際標準化バトルフィールドで勝利しつづける著者が本書で答える。
  - なぜ、JR東日本は中国に新幹線を建設するのか
  - なぜ、東京電力は中国に超高压送電網を展開するのか
  - なぜ、HD-DVDを推す東芝はBDを推すソニー/パナソニックを相手に戦ったのか
  - なぜ、ソニー/パナソニックの競争相手が日立製作所や三菱電機でなく東芝だったのか
  - なぜ、非接触型ICカードの開発企業がオムロン、東芝、日本信号でなくソニーだったのか
  - なぜ、マイクロソフトはOOXMLのISO/IEC国際標準化に固執したのか

### ○主要読者

省庁官僚・関係団体職員、標準化に携わる大学教員・企業技術者、会社役員・経営者など。

### ○主要目次

|                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 第1章 標準のもつさまざまな二面性 | 第7章 企業外組織の構造と活用    |
| 第2章 人と組織の多面性      | 第8章 標準にまつわる知財権と法律  |
| 第3章 標準をめぐる時代の変化   | 第9章 企業内組織の構築と活用    |
| 第4章 出遅れる日本企業      | 第10章 標準化委員会の知識と作業  |
| 第5章 アジア市場の特殊性     | 第11章 国際標準化競争の事例検証  |
| 第6章 標準化組織の特徴      | 第12章 これからの海外進出ビジネス |

### ○著者紹介

1947年生まれ。ソニー(株)本社に勤務し、人事本部、マーチャンダイジング戦略本部、法務・渉外グループ、コーポレート・テクノロジー部門技術渉外室統括室長、スタンダード&テクノロジーアライアンス戦略グループダイレクターなどの職務に就く。2007年から(財)日本規格協会国際標準化支援センター主幹。ジュネーブに立地する国際電気標準会議(IEC)標準管理評議会(SMB)の日本代表委員も務める。著者が工業標準化事業への功績で10月20日に受賞する内閣総理大臣賞は昨年から設けられた賞で、昨年度の高柳誠一氏(元東芝副会長)に次いで二人目。